令和6年1月発行　第179号
（2024年）

四つの市民運動
- 美しい街づくり
- 郷土を知る
- 小さな親切
- スポーツに親しむ

自連協だより

発行　船橋市自治会連合協議会
代表者　早川　淑男
所在地　〒273-8501 船橋市湊町2丁目10番25号
事務局　船橋市役所自治振興課内
発行部数　190,000部（自治会数772）
発行　年3回
電話　047−436−2025
FAX　047−436−2167

今年こそご近所とのお付き合いを復活し元の日常に戻る年に

会長　早川　淑男

新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましてはお健やかな年明けをお迎えになったことと存じます。

昨年中は、当協議会の活動に関しましてご理解、ご協力をいただき改めて厚くお礼申し上げます。

3年余にわたるコロナ禍も昨年5月、5類に移行し、とりあえずの収束を迎えました。

一方でインフルエンザが流行りだし油断のできない状況下ではありましたが、多くの町会・自治会、地区連では、4年振りの夏祭りや運動会、敬老会や秋まつりなどで親睦を深められたことと存じます。

三密回避や外出自粛で逼塞しがちとなり、ご近所、町会内の関係が希薄になったとの声が聞かれておりましたが、皆さんが一堂に会し、明るく笑顔で語り合い、楽しい一時を過ごせる、こんな素晴らしいことはありません。

そして今年こそ不安が解消され、かっては日常であったご近所との親密な関係や町会活動が元に戻ることを心から願ってやみません。

一方、現状ではいくつもの課題を抱えています。町会・自治会の加入率の低下や役員の高齢化、活動の担い手不足が深刻となっているところが多くなっています。

災害時に避難行動が困難になっている方も増えています。

解決は難しいですが、こうした状況下だからこそ助け合える共助コミュニティ、地域や人のつながりが大事ではないでしょうか。皆様と共に考え、取り組んでいける年となることを願っております。

謹賀新年

船橋の文化財

意富比神社（おおひじんじゃ）（船橋大神宮（ふなばしだいじんぐう））灯明台

船橋の海を航行する船や漁民は、永く船橋大神宮の常夜灯を目印としていたが、慶応4年（1861）の戊辰戦争で社殿と共に焼失してしまった。

再建の声が高まり、明治13年（1880）地元有志の寄付金に依って建設された。

明治28年（1895）に廃止される迄、政府公認の私設灯台として、船橋の海を照らし続けた。

笑顔あふれるまちを目指して

船橋市長　松戸　徹

あけましておめでとうございます。

船橋市自治会連合協議会の皆様におかれましては、健やかな新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

旧年中も町会・自治会に共通する課題に取り組まれ、まちづくりにご尽力頂きましたこと御礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、新型コロナウイルスが感染症法上の2類から5類に移行されたことに伴い感染対策が変わりコロナ禍前のにぎわいが戻ってきた一方、エネルギーをはじめとする物価高騰等が市民生活に大きな影響を与えました。そうした中でも、小中高校生の文化スポーツでの活躍や、船橋市をホームタウンとするクボタスピアーズ船橋・東京ベイ・がジャパンラグビーリーグワンでの初優勝と千葉ジェッツふなばしの天皇杯と地区優勝など、明るい話題も数多くあったことは船橋ならではのことであったと思います。

地域のコミュニティづくりは船橋のまちづくりにおいて大きな課題となっており、地域住民の生活と最も密着した町会・自治会活動は、豊かな地域社会づくりを進めるうえで大きな力となっています。

市といたしましては、将来につながる取り組みと共に、市民活動や現在の課題解決と将来に向けた施策を積極的に進めてまいりますので、皆様の一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

多年の功績を称えて

厚生労働大臣表彰

自連協副会長・西田喜野井町会長
吉田　壽一

令和5年11月15日、浅草公会堂にて開催された全国社会福祉大会で、地域福祉活動功労者として厚生労働大臣より表彰されました。

全国自治会連合会表彰

自連協副会長兼会計・南三咲不動町会長
池戸　康夫

令和5年10月18日、全国自治会連合会北海道札幌大会で、自治会活動推進功労者として表彰されました。

千葉県社会福祉協議会長表彰

自連協常任理事・セントラルコーポ船橋自治会会長
岸波　庸子

令和5年11月14日、千葉県社会福祉大会で、地域福祉活動功労者として表彰されました。

住民自治功労表彰

大穴松美ヶ丘自治会会長
増川　孝司（大穴北）

海神自治会会長
岡部　勝紘（海神）

行田町会会長
平尾　正利（山手）

小室さざんか町会会長
佐藤　憲弘（小室町）

栄町一丁目自治会会長
岸　和夫（栄町）

サンヴェール船橋本町自治会会長
武藤　章（本町）

サンファミール船橋自治会会長
松橋　浩嗣（南本町）

高島台自治会会長
西野　利秋（大穴北）

田喜野井南第四町会会長
大﨑　徹（田喜野井）

ティアラマークス自治会会長
濱本　武將（行田）

夏見自治会会長
吉野　進（夏見）

夏見台南部自治会会長
西　靖正（夏見）

はざま台サンハイツ自治会会長
谷江　政夫（飯山満町）

本中山5丁目町会会長
坪木　昌弘（本中山）

前原西1丁目札場町会会長
熊澤　達夫（前原西）

松三町会会長
鬼島　晃信（芝山）

三咲第二自治会会長
平林　みどり（三咲）

宮本ファミリーマンション自治会会長
坂本　育代（宮本）

明けましておめでとうございます

令和6年元旦　船橋市自治会連合協議会

会長	早川　淑男	（高根・金杉）	
副会長	藤本千恵子	（八木が谷）	
事務局長	池戸　康夫	（三咲）	
副会長	内海進三郎	（湊町）	環境衛生部会長
会計	村田佐江子	（本町）	防犯部会長
副会長	文川　和雄	（西船）	組織対策委員長
〃	坪木　昌弘	（本中山）	防災部会長
〃	泉谷　清次	（夏見）	不法駐輪防止委員長
〃	庄司　孝憲	（新高根・芝山）	福祉部会長
〃	加瀬　武正	（前原）	青少年教育部会長
〃	吉田　壽一	（三田習）	広報部会長・活性化委員長
常任理事	飯島　康宏	（宮本）	福祉
〃	中台　久之	（宮本）	青少年教育
〃	武藤眞佐雄	（宮本）	環境衛生・不法駐輪
〃	中村　吉保	（湊町）	防災・不法駐輪
〃	中島　博和	（本町）	防犯・活性化
〃	千葉　勝昭	（海神）	青少年教育
〃	堀江　義一	（海神）	防犯・組織対策
〃	松橋　浩嗣	（海神）	環境衛生
〃	石井栄太郎	（西船）	防災・不法駐輪
〃	石山富美晴	（西船）	防災・活性化
〃	板羽　正紀	（本中山）	防犯
〃	小林　英三	（塚田）	環境衛生・不法駐輪
〃	川野　友孝	（塚田）	防災・組織対策
〃	藤本　賢三	（塚田）	環境衛生
〃	佐久間　隆	（法典）	防災
〃	角田　武彦	（法典）	防犯
〃	川崎　昇	（法典）	環境衛生
〃	西　靖正	（夏見）	広報
〃	吉野　進	（夏見）	防災・不法駐輪
〃	小藤田　豊	（高根・金杉）	防犯・組織対策・活性化
〃	對馬　章	（高根台）	青少年教育
〃	石川　敏宏	（高根台）	福祉
〃	田原　康夫	（新高根・芝山）	環境衛生
〃	柴田　良一	（新高根・芝山）	環境衛生・不法駐輪
〃	山本　健一	（前原）	青少年教育
〃	石井　勝美	（前原）	環境衛生
〃	芝本　尚明	（前原）	青少年教育
〃	谷江　政夫	（二宮・飯山満）	福祉・組織対策
〃	齋藤　衛	（二宮・飯山満）	防犯
〃	岸波　庸子	（二宮・飯山満）	青少年教育・活性化
〃	新田　一郎	（薬円台）	青少年教育
〃	安田　康	（薬円台）	福祉
〃	竹島　明正	（三田習）	福祉・不法駐輪
〃	田中　久雄	（三田習）	青少年教育
〃	硲　龍男	（習志野台・西習志野）	環境衛生
〃	西原　潔	（習志野台・西習志野）	広報
〃	朝比奈敏勝	（習志野台・西習志野）	防犯・活性化
〃	小田切秀夫	（習志野台・西習志野）	青少年教育
〃	篠山　孟	（二和）	福祉
〃	梶野　洋	（二和）	福祉・不法駐輪
〃	平林みどり	（三咲）	青少年教育・活性化
〃	藤本　貞敏	（八木が谷）	防犯・不法駐輪
〃	安井　信夫	（松が丘）	防災
〃	西野　利秋	（大穴）	福祉
〃	村田　米吉	（大穴）	環境衛生
〃	須田　茂	（豊富）	福祉・活性化
〃	坂本　博	（豊富）	防災
〃	田中　裕治	（坪井）	防犯・組織対策
〃	服部　正利	（坪井）	防災

視察研修　青少年教育部会

加瀬　武正

令和5年10月5日「青少年教育部会と市民の会」との合同視察研修が行われました。

好天に恵まれ、市役所を予定通り出発しました。

早川会長よりご挨拶を頂き、参加者28名はいわき勿来ICを目指しました。

震災の前と後と、二回訪問させて頂きました塩屋岬周辺の、薄磯地区の変わり様には「びっくり」させられました。

海岸線には、高さ5mの防潮堤（コンクリート）が完成し、内陸側には土盛りの防潮堤（幅50m）には植栽が植えられていました。

多種類の樹木が整然と植えられ、松は3m位に成長していました。

コンクリートも必要だが自然の力と、暖か味も今後の再建に向けて必要と考え、計画されたそうです。

いわき震災伝承みらい館は5月にオープンしました。「震災の記憶と教訓を未来につなぐ」を目的に多様な展示を通じて、震災の記憶教訓を伝えるための施設です。

震災語り部の方による案内で1時間程被災地の現状や復興状況など伺いました。

海岸は、居住禁止区域となり高台を整地した土を利用し、自然と一緒に防災を考えると話されていました。

整地した後は、防災公園に整備され、マンホールトイレが6カ所作られ蓋を開けると用具が収納されているとの事でした。

30m四方の屋根付広場は通常は遊びやイベントとして使い、周りを囲えば避難場所になり、多様の利用が出来る。又ベンチの背もたれの中には、避難所資機材が収納されるなど良く考えられた防災公園でした。

小学校は、津波の被害で廃校になりましたが中学校は山の中で無事でした。校庭の一部まで津波が来たそうでした。

中学校が一次避難場所でしたが、生活確保場所への移動は通常の道路は流木で使用出来ず、山道の移動は苦労したそうです。

語り部ご自身も被災者で、家も家族も失ったそうで、言葉の一つ一つに重みが感じられる説明で感銘しました。

研修にご協力賜りました多くの皆様に感謝とお礼を申し上げます。

視点

市民力でCO_2を減らそう！

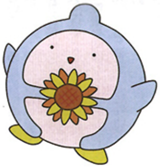
昨年の夏は気象庁始まって以来の猛暑が続き皆様大変な日々を送られたことと思います、特に7月中旬から9月中旬にかけては千葉県下では34回もの熱中症アラートが発令され一日中エアコンをつけっぱなしのご家庭も多かったのではないでしょうか、農家の方からは、野菜や特産の梨へのダメージが大きく困惑や落胆の声を多く伺いました。皆さん本当にご苦労されたことと思います。

そして、この暑さの主たる原因が過剰な温室効果ガスによる地球温暖化によるものと言われています。この温室効果ガスは、二酸化炭素やメタン、フロンなどが該当し、地球の気温を一定に保つ重要なものだそうですが、これが増え過ぎると宇宙に逃げるはずの熱が放出されず地表に溜まり、気温が上昇したり、地球全体の気候が変化し、地球温暖化の主な原因とされています。日本は言うに及ばず世界各国で二酸化炭素削減に必死になっているのもそのためです。

船橋市では2021年（令和3年）3月に地球温暖化対策実行計画を策定し、市域から排出される温室効果ガスを2013年と比較して2030年に46％削減、2050年までに実質ゼロとする「ゼロ・カーボン」を目標に掲げ、「ふなばしの力で〝減らせCO_2〟！」をキャッチコピーとして産官学民連携して取り組んでいます。現状では、残念ながら市民の方に十分浸透しているとは言い切れませんが、持続可能な未来に向けて今こそ皆さんで真剣に考えてみる時ではないでしょうか。

それでは、私たちは何をすればいいのでしょうか。船橋市は、市民や事業者ができる18項目のアクションプランを示しています。身近にできる主なものをあげてみます。①使用していない部屋の電気を消そう（玄関やトイレ）、②冷蔵庫やエアコンの温度は適切にしよう（強から中へ、部屋温度は28℃に）、③マイバックやマイボトルを持ち歩こう、④エコマークや省エネラベルの製品を選ぼう、⑤エコドライブを実践しよう。これらはほとんどのご家庭で実践していることばかりで決して難しいことではありません。そのほか、地元の食材を使うエコ・クッキングの実践（併せてごみの減量化）、宅配便の再配達の防止、緑のカーテンやすだれの設置などが挙げられておりますが、いずれも私たちの心がけ次第できることばかりです。そして、これらの実践が家計の節約になることも期待できるかもしれません。この問題は、全員が加害者となり、全員が被害者になる関係にあります。他人事ではなく自分事として考えてみませんか。

（会長　早川　淑男）



船橋市ゼロカーボンシティ
推進地域協議会
マスコットキャラクター
「ふなわりくん」

令和5年度全自連北海道札幌大会に参加

令和5年10月18日、令和5年度全国自治会連合会（全自連）の全国大会が、北海道札幌市で開催され、船橋市自連協からは早川淑男会長及び池戸康夫副会長が参加しました。

大会会場となった北海道立道民活動センター「かでる2.7」には、全国から約500名の関係者が集いました。大会の第一部式典では、冒頭に全自連の長谷川敬二会長から「全国各地で開催する本大会は今年で36回目となった。大会を継続することにより、本会活動が多くの皆さまにより広く理解されることを確信する」との話がありました。

続いて大会開催地知事挨拶、内閣総理大臣メッセージ披露、来賓祝辞・紹介、大会宣言採択の後、全自連会長表彰があり、全国計99名（船橋市自連協からは池戸副会長）が受賞。また、令和4年秋及び令和5年春の叙勲受章者（船橋市自連協は令和4秋受章の加瀬武正副会長）の紹介がありました。次期大会開催地である福井県の自治会連合会長の挨拶で第一部は締めくくられました。続く第二部記念講演は、街歩き研究家の和田 哲氏により、「あなたとつながる北海道・札幌」と題しての話、第三部活動発表は、苫小牧市の町内会役員から「デジタルとアナログを合わせた町内会活動～コロナ禍で絆を育むために」、札幌市の町内会役員から「コロナ禍で実践した町内会の防災活動～防災風呂敷の製作」と題した活動の模様が紹介されました。第四部交歓会は、会場を近くのホテルに移して行われ、参加者同士の懇談やアトラクションがありました。

全国自治会連合会北海道札幌大会

今回の全国大会に参加して、「問題を解決していくカギは、人間の知恵（アイディア）とそれを実行する行動力」であることをあらためて学びました。

副会長　池戸　康夫

追悼　平川道雄前会長逝く

令和5年度自連協定期総会をもって会長を退任された平川道雄（78歳）氏が昨年10月28日、ご病気のためご逝去されました。11月1日お通夜、2日ご葬儀が、セレモ高根ホールにてしめやかに執り行われ、多くの皆様と共にお送りいたしました。

平川道雄氏は、昭和20年秩父市でお生まれになり、43年大学卒業後船橋市役所に入所、枢要な役職を経て、平成18年退職を機に松が丘地区八丁歩町会長に就任され、以後同地区連会長、自連協常任理事、同副会長を歴任し、令和3年5月に自連協会長に就任されました。長年にわたり、豊富な経験と卓抜した識見、そして温厚でありながら強い信念を貫かれ、自連協発展に多大な貢献をされました。

ご功労に感謝申し上げますとともに心よりご冥福をお祈り申し上げます。

（執行部）

「消防フェア2023」開催

『消防フェア2023』を令和5年10月28日（土）に船橋市消防訓練センター（船橋市古和釜町502-1）にて開催いたしました。

今回が初開催でありましたが、天候に恵まれたこともあり、大変多くの市民の方々にお越しいただき大盛況となりました。

消防フェアは、船橋市民の方々と消防の「ふれあいの場」を設けることにより、消防行政に対するご理解とご協力を呼びかけ、地域住民の方々の防災意識の啓発を図ることを目的として開催いたしました。

30mを超える高さまで到達可能なはしご車の搭乗体験や、今年10月に市内3事業所から寄贈された電動ミニ消防車と電動ミニ救急車の乗車体験は大変人気で長蛇の列ができていました。

救助隊による救出・救助訓練のデモンストレーションでは、安全・確実な動作で逃げ遅れた方を素早く救出した場面に歓声が沸き起こっておりました。

小さなお子さん達が救助隊のようにロープ渡過体験をしている勇敢な姿や、防火衣を着て水消火器や屋内消火栓設備の放水体験をしている光景は、未来の船橋市の安全・安心な暮らしを守ってくれているようで、大変頼もしかったです。

煙が充満した室内を歩行するコーナーや、映像と効果音で迫力満点の起震車コーナーからは時折悲鳴も聞こえていました。

火災再現実験コーナーでは、束ねられた電気配線が発熱して火災が発生する状況等をご覧いただくなど、日常生活では出来ない様々な体験をしていただき、火災等の災害について見つめ直していただく良い機会になったのではないでしょうか。

今後も消防出初式など様々な機会を通じて、消防行政に対するご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。

（消防局予防課）

部会だより

安全・安心まちづくり旬間 出発式

防犯部会

千葉県では千葉安全・安心まちづくり旬間を行っています。コロナ禍の為約4年間啓発活動を中止していましたが、今年度は実施されました。

船橋市としても、特殊詐欺の多発で被害が4億円と市民の安全を守る為にも「まちづくり旬間」を行い、少しでも被害を減らそうと活動を行う事になりました。

旬間は県全体として10月11日から10日間の行事ですが、船橋市は9日（スポーツの日）から14・15日は市民祭りがある為スタートキャンペーンと位置づけ実施しました。

「拠点1」は船橋警察署管内では船橋駅北口お祭り広場で予定し「電話de詐欺」被害の注意喚起、啓発を行いました。残念ながら当日は雨のためお祭り広場での催してはなく、駅北側の通路にて、自連協・青少年市民の会・各防犯ボランティア・警察署関係者が集まり、自連協会長・船橋市長・船橋警察署長の挨拶で始まり、「安全まちづくりの宣言」後、グッズを配布して市民に啓発アピールしました。

「拠点2」はJUJU北習志野広場で、午後1時から自連協会長・船橋市長・船橋東警察署長の挨拶の後、習志野台中学校吹奏楽部が協力演奏をしてくれました。多くの市民が参加し、こちらでも「電話de詐欺」の防止をアピールしました。自連協・各地区市民の会・防犯ボランティアが参加しました。

また、10月14日三咲地区、15日本中山地区、20日坪井地区、20日飯山満地区、20日八木が谷地区、その他高根・金杉をはじめ各地区で、被害発生防止の啓発活動に取り組んで頂きました。

防犯部会長　村田 佐江子

船橋駅北口

JuJu 北習志野広場

船橋駅周辺安全推進協議会20周年を迎えて

船橋駅周辺安全推進協議会は、船橋市の玄関口である船橋駅を中心に組織しております。駅周辺は、繁華街であり、JR・京成・東武など3鉄道が乗り入れ、多くの人々が集まります。その為、客引き問題や若者の非行トラブルも多発、昼間も自転車盗難や子供達の生活環境の安全確保など悩ましい事案が発生しています。こうしたことから平成15年に「船橋駅周辺の環境を守る協議会」としてスタートし、その後「船橋駅周辺安全推進協議会」と改称して活動を継続し、本年満20年を迎えました。

毎月のパトロール（毎回約40名～50名の参加）と防犯カメラの設置とその維持管理、防犯キャンペーン参加など日々住民活動に取り組んでおります。今後も警察や市民安全推進課の応援を得て、安全・安心のまちづくりに尽力していくこととしています。

会長　村田 佐江子

町会・自治会長セミナー開催

組織対策委員会

昨年10月21日（土）町会・自治会長セミナーを中央公民館で開催しました。

新型コロナウィルス感染予防による自粛・規制も緩和されましたので組織対策委員会で検討し、4年ぶりに開催の運びとなりました。

近年、各町会・自治会の多くで高齢化等による役員のなり手不足、担い手不足に加え、未加入、退会者増加など町会運営が深刻化している現状に鑑み、今回は地域活性化コンサルタントで、こうした問題に関する著書を多数出されている水津陽子氏を講師としてお招きし、講演会形式としました。

当日は119名の方が出席され、熱心に講演を聴き、終了後は活発な質疑応答が行われました。

また、当日行いましたアンケートでは100名の方から回答を頂きました。回答結果は別表の通りです。

また自連協への意見も多数寄せられました。各部会の活動が見えるようになってきて喜ばしい、大変有意義なセミナーだったが、できれば5・6月にやってほしい。共通の課題を持った町会同士の問題点の共有化、対策の検討を行うワークショップ等の場を作ってほしい、今回のような講演会、IT活用促進に関する研修会等各町内会の実行力のある人材（会長に限らず）を対象にした場を作ってほしい。その他IT化推進のためのセミナーの開催、退会者から自治会費と同等の会費に代わる金額を徴収できないか検討が必要、自連協として今何ができるのか、各自治会が何を望んでいるのか等を調査して一つでも改善できることを見つけ出して対応してほしい等の意見を頂きました。今後組織対策委員会としての検討課題とさせて頂きます。

委員長　文川 和雄

役員在職期間

期間	回答数	期間	回答数
1年目	26	12年目	5
2年目	6	13年目	3
3年目	7	14年目	1
4年目	6	15年目	4
5年目	8	16年目	1
6年目	6	17年目	0
7年目	6	18年目	1
8年目	4	19年目	0
9年目	2	20年～29年目	5
10年目	4	30年目以上	2
11年目	2	未回答	1

回答者のプロフィール

プロフィール		回答数	構成比(%)		回答数	構成比(%)
性別	男性	83人	83.0	女性	9人	9.0
	未回答	8人	8.0			
年代	30歳代	2人	2.0	60歳代	17人	17.0
	40歳代	2人	2.0	70歳代	55人	55.0
	50歳代	9人	9.0	80歳代	15人	15.0

町会運営についてどのような悩みがありますか？（複数可）

	回答数
①新規の入会数が少ない	35
②役員のなり手がいない	69
③集合住宅の未加入が増えた	27
④行事への参加者が少ない	41
⑤退会者の増加	33
⑥役員に高齢者が多い	69
⑦役員に若い人がいない	42
⑧その他	14

今日の講演会を聞いて参考になりましたか？

	回答数		回答数
①参考になった	83	③どちらとも言えない	10
②参考にならなかった	1	未回答	6

令和5年度 船橋市総合防災訓練

防災部会

ここ数年、コロナ感染症対策として、参加人数を制限（町会・自治会役員のみ）した船橋市総合防災訓練を実施してきました。今年度はコロナ禍も収束したことから訓練参加者を制限しない（市民全員参加方式）とした総合防災訓練が、11月26日（日）9時から12時まで行われました。「千葉県北西部直下を震源とするM7.3、市内で最大震度6強の地震により、住宅や道路等に甚大な被害がもたらされ、ライフラインが失われた。」との想定で82会場（市内55小学校、市内26中学校、船橋市特別支援学校高根台校舎、主会場金杉小学校）で実施されました。

今年の訓練は、市民全員参加による（1）いっせい行動訓練（シェイクアウト訓練）、（2）事前に配布された各町会・自治会の避難場所一覧表【令和5年度船橋市総合防災訓練参加町会・自治会等一覧】に基づき指定された市内82会場に市職員・学校職員・消防職員・関係団体・市民が参集し行う避難訓練、（3）避難所開設・運営訓練①避難者受付②避難所運営動画視聴、（4）資機材取り扱い訓練（LEDバルーン照明、紙管パーテーション・ワンタッチパーテーション・けん引式車いす補助装置取付・マンホールトイレ組立（＊整備会場のみ）（5）初期消火訓練または応急救護訓練等が行われました。

特に、メイン会場の金杉小学校では、市民、市職員、その他関係者約200名が参加し、災害が発生した時に実際に使用する体育館、各教室、校舎敷地を使用した避難所開設・運営訓練を金杉小避難所運営協議会メンバーを中心に①総務・情報班（避難者受付・安否確認訓練）、②総務・要配慮者班（避難者誘導訓練）、③施設管理班（避難所レイアウト設定訓練）、④食料・物資班（給水訓練）、⑤保健・衛生班（ペット受け入れ訓練）、5班に分かれた訓練とマンホールトイレ組立・LEDバルーン照明組立と消火栓からの給水などより実践に近い訓練が行われました。

結果、①メイン会場で実施されたような避難所運営訓練には各町会・自治会避難参加者、避難所運営委員会メンバーを併せ100名以上の参加者がいないと訓練が不可能なこと。（今回の訓練でも100名以上参加した会場は数か所しかないこと）②地震を想定した総合防災訓練の一方、近年各地で発生している風水害の発生を想定した防災訓練の要望が一部地区から出ていること等の課題が見えてきました。

メイン会場で実施した避難所運営委員会設置による運営推進は、防災活動の目的の観点から急務と考え他地区でも推進するとともに、風水害を起因とした総合防災訓練も近年無視できない事から防災部会として、今後関係先と積極的に協議調整していく予定です。

参加された皆様、ありがとうございました。

部会長　坪木 昌弘

紙管パーテーション組立

LEDバルーン照明組立

4年ぶりの「教育講演会」を開催

八木が谷地区自治会連絡協議会

八木が谷地区自治会連絡協議会では、毎年、八木が谷中学校の全生徒と地域の自治会員を対象に「教育講演会」を開催しています。

コロナの影響で、今年は4年ぶりの講演会となりました。

これまで多岐にわたる分野の講師をお招きして、次世代を担う生徒たちに向けて生の声を聞いてもらう事も大切と、この事業に取り組んできました。

講師は、アスリートや宇宙、環境、音楽、ゲーム等の様々な分野の方々がいます。

今回は、千葉工業大学で未来ロボット技術研究センターの戸田健吾氏による「ロボット技術と未来社会」との演題で、映像を交えて語って頂きました。

生徒たちの反応は、このロボット見たことある・こんなこと出来るの?・ロボット作りは何回も失敗を繰り返して成功すること等、学びの多い講演でした。

「教育講演会」の様子

この未来ロボット技術研究センターは、東京電力福島第1原発に、唯一全フロアー走破可能なロボットを無償で提供し、冷温停止ミッションなど数々の成果を達成しました。また、日常生活でも使う掃除ロボットの開発や未来社会の住環境、医療関連などのロボットの研究開発も行っており、普段の暮らしの中にロボットを使っていたと感じた講演会になりました。

この講演を聞いて将来ロボット作りに興味を持ってくれる生徒がいるかなと、毎回講演が終わる度にそんな感想を持ってしまいますが、4年ぶりの今回の教育講演会に、地区自連の活動が戻ったと安堵しつつ、今後も地域の活性化に向けて事業に取り組んでいきたいと思います。

会長　宮澤　博

地域のつながりを

塚田地区連合自治会

10月29日(日)第2回塚田まつりが開催されました。塚田まつりは塚田地区連合自治会の環境フェアと塚田地区社会福祉協議会の福祉まつりを昨年から統一し、「塚田まつり」として開催したものです。

特に塚田まつりを支えてくれたのは民生委員・児童委員や地区内の7つの学校の保護者、医療機関や地域活動を熱心に取り組まれている方々など、私が開会の挨拶で申し上げた新しい塚田地区のロゴマーク「つながり」を重ね合わせたロゴのように、つながりで結び付いた結果、盛会に開催できた塚田まつりであったと言えましょう。

会場の各コーナーでは心肺蘇生法、車いす体験、高齢者・子育て相談、「クリーン船橋530」の活動紹介、制作コーナーではエコバッグ、ハーバリウム、アートバルーンの作成は盛況で、早々に終了するという嬉しい悲鳴でした。販売コーナーでは地域の小学校のおやじの会や子ども食堂、障がい者グループホームの皆さんの手作りクッキーや焼きそば、フランクフルト、近隣の採り立て野菜の販売など、協力頂いたそれぞれの団体が自主的に取り組んでくださいました。

また、閉会セレモニーには塚田のコックさんの合唱団が素晴らしい歌声で会場を和ませてくださいました。

抽選会には先着3百名ずつ2回行い、悲喜交々の瞬間を味わいながら終了することが出来ました。

会長　川野　友孝

We ♥ つかだ

塚田地区のロゴマーク

「令和5年ミニSL祭り」を開催

前原西三会

令和4年、全国旅行支援の開始、水際対策の緩和など新型コロナウィルス感染症に対する規制緩和がなされ、当町会も、3年ぶりの町会行事として、「令和4年ミニSL祭り」を開催しました。

令和5年は、令和5年度町会総会の中で、新規事業として承認され、12月3日、前原北公園にて開催しました。特に習志野鐵道倶楽部の皆様、育成会のお父さん、お母さん、13分団の消防団員、町会役員の厚い協力を得て無事行うことができました。

内容については、SL機関車、地下鉄、サンタフェ鉄道等5台のミニ車両を持ち込み、子供達はもちろん、お父さん、お母さん達も喜んでくれました。

中には機関車などに何十回と乗って、乗車切符にハサミをたくさん入れてもらい大はしゃぎの子供さんもいました。

出店は、焼きそば、フランクフルト、綿あめ、とん汁、おでんがあり、当て物も盛況でした。

令和5年に入り、5月は運動会、7月は盆踊り、9月は敬老会、10月は神輿渡行、そして、今回のミニSL祭りの開催は、来年度に向けて、いよいよ町会活動が動き始めた気がしました。

前原北公園駅
ミニSL祭り

当町会も、町会役員の高齢化、町会員の減少、町会活動に対する無関心等、先行きの心配はありますが、例年通り決まったことを継続していくことが必要だと思いました。

会長　高西　裕一

習志野台団地　夜空に輝くイルミネーション　美しい光の広場を見に来てね！

習志野台団地自治会

習志野台団地自治会では、2014年の暮れからクリスマスイルミネーション飾りを5街区集会所広場に設置しています。

自治会役員とボランティアが心を込めて輝かせたイルミネーションの光のように、団地の未来にも希望の光が灯されることを願いながら毎年飾りつけを行っています。広場には十数メートルの楠木があり、その上部から集会所の屋根に向けて10本程の電線にカラー豆電球を配置して取り付けています。取り付けは業者に頼らず、役員やボランティアの方々にお手伝いいただきながら行っていますが、近年、高齢化が進み高い所へ梯子をかけ作業するのに難渋することもしばしばです。

ただ、暗くなり点灯すると、大河にかかる虹のかけ橋のように輝き、携わった皆さんで、達成感と喜びを分かちあっています。

団地では、このイルミネーションのほか、5月には鯉のぼり、7月には七夕飾りを行っており、団地の風物詩として住民の皆さんの目をなごませ喜んでいただいております。

多くの皆様にも見ていただきたいので、ぜひお越しください。

会長　藤田　和敏

クリスマスイルミネーション

寄附禁止のルールを守りましょう

めいすい君

政治家が選挙区内の人や団体へ金銭や物品等を贈ることは、法律で禁止されています。

また、有権者が寄附行為を求めることも禁止されています。

主な例は次の通りです。

冠婚葬祭
- ×葬式の花輪・供花
- ×秘書等が代理で出席する場合の祝儀や香典

贈答品、お祝い、お見舞い
- ×お歳暮やお年賀
- ×入学祝・卒業祝
- ×開店祝の花輪
- ×旅行への餞別
- ×バレンタインデーチョコやホワイトデーのお返し
- ×病気やけがに対するお見舞い

イベント関係
- ×お祭りやスポーツ大会への寄附や差入

贈らない
求めない
受け取らない

寄附禁止のルールをしっかり守って明るい選挙を実現しましょう。

船橋市明るい選挙推進協議会
船橋市選挙管理委員会
(☎047・436・2733)

編集後記

今年の夏は、地球温暖化の影響もあってか、異常気象に依り、「気温の高い日々」が長く続きました。

また、突然スコールの様な集中豪雨が発生し、日本各地に被害を齎しました。

更に、近年、少子高齢化が進行する中、この3年間の「コロナ禍」は、高齢の方々の孤独や孤立に纏わる不安、そしてその不安から引き起こされる困りごと等が発生している様に見受けられました。

しかしながら、4年目となった「コロナ禍」での影響の中にありながらも、各地区連、各町会・自治会の皆様方には、可能な範囲内での活動を実施し、これまでの日常を取り戻そうと、ゆっくりと動き出された様子が、多々見受けられます。

人々の持つ「回復しようとする力」を心強く思う所です。

（Y生）